世界の あしたが 見えるまち。 TSUKUBA

つくば市記者会 御中

発信日:令和2年(2020年)5月29日(金)

発信元:つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

□取材依頼 □周知依頼 ■募集告知 □その他

令和2年度「つくばSociety 5.0 社会実装トライアル支援事業」の募集を開始します!

一つくばが未来をつくる実験室になる一



1. 概要

つくば市では、平成29年度から「世界のあしたが見えるまち」というヴィジョンの下、革新的な技術やアイディアで社会課題を解決する、Society 5.0 (※)の社会実装に向けたトライアル(実証実験)を全国から公募し、優れた提案を全面的にサポートしてきました。今年度は新型コロナウイルス感染が生活や経済に大きな影響を及ぼしていることから、「With/Afterコロナの生活スタイル 」のテーマを設定し、以下のとおり募集を開始します。

2. 募集テーマ

■ 「With/Afterコロナの生活スタイル 」

接触機会を低減しつつ、市民の移動、買い物、娯楽・スポーツ、食事、学び、新しい働き方及び市内経済活動の活性化等の市域の課題を解決するための技術・製品やサービス

3. 支援内容

トライアルの実施に係る経費の支援(上限100万円)、施設の確保、モニターのあっせん等 、国等に対する規制・制度改革の提案 、大学・研究機関等とのマッチング 、市のイベント等におけるPRの場の提供など

4. 対象者

教育機関(中学校〜)・企業(個人事業主も可)・研究機関 ※各団体において、責任者と構成員が明確な場合、部署・研究所単位の応募も可

5. 募集期間

令和2年(2020年)6月1日(月)~7月31日(金)午後5時15分

- 6. 採択件数 5件 ※うち1件スタートアップ賞 (予定)
 - ■「スタートアップ賞|

スタートアップ(対象:設立5年以内)から最も優秀な提案に授与し、つくば市のスタートアップ支援メニューとあわせて充実した支援を実施(令和元年度も実施)

7. 提案方法

企画提案書等を専用Webフォームから送信。

詳細は「つくば市 Society 5.0」で検索し、つくば市ホームページの専用ページ(令和2年6月1日 (月)午前8時から公開予定)を参照。

8. その他

審査会は、オンラインを予定。詳細は、後日ホームページ等で周知予定。

※Society 5.0とは

IoT(Internet of Things)、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータなどの新たな技術を、あらゆる産業や社会生活に取り入れてイノベーションを創出し、一人ひとりのニーズに合わせる形で社会的課題を解決する新たな社会のこと。(内閣府第5期科学技術基本計画より)



Society 5.0

世界の あしたが 見えるまち。 TSUKUBA



[Society 5.0]の社会実装に向けた革新的な技術やアイデアを活用した トライアル (実証実験)を全面的にサポートします。

募集テーマ 「With / After コロナの生活スタイル」

接触機会を低減しつつ、市民の移動、買い物、娯楽・スポーツ、食事、学び、新しい働き方 及び市内経済の活性化等の市域の課題を解決するための技術・製品やサービスのトライアル

2020. 7.31 F





試作品改良もOK

トライアル費用補助

費用補助 100 万円 (上限)。施設使用費や運搬費、 旅費に加え、モニタ謝礼や試作品改良費も申請可能。

市内施設活用等支援

市内公共施設や病院、商業施設の確保。市民モニタ のあっせん、イベントでの PR 等を行います。

事業終了後も安心

継続フォロー

市政サービスでの導入検討から市内への普及促進ま で支援。

対象者:教育機関 (中学校~)・企業 (個人事業主含む)・研究機関

※各団体で責任者と構成員が明確な場合、部署・研究室単位の応募も可。

5 件を予定(内 1 件スタートアップ賞)※受賞対象: 募集対象のうち設立 5 年以内のもの

採択件数

6月~7月31日

公募

8月下旬 -9月下旬

10月頃~翌3月頃 トライアルの実施

詳細は WEB で

トライアル支援





つくば市政策イノベーション部科学技術振興課 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

「EL 029-883-1111_(代表)

お申し込み お問い合わせは 右記まで

応

募 要

項

http://www.city.tsukuba.lg.jp/